

日本人類遺伝学会第 28 回大会記事 (1983)

Proceedings of the 28th Annual Meeting of
the Japan Society of Human Genetics, 1983

会 場 宝塚市梅野 1-46 宝塚ホテル

会 期 昭和 58 年 11 月 9 日~11 日

大会会長 松本秀雄 (大阪医大教授)

大会副会長 古山順一 (兵庫医大教授)

発表 学会賞受賞講演

多田啓也 (東北大・小児) : 細胞内小器官の膜輸送の遺伝的障害に基づく疾患 (糖原病 Ib 型) — 新しい遺伝疾患カテゴリーの提唱。

会長講演

松本秀雄 (大阪医大・法医) : ヒト免疫グロブリンの遺伝標識に関する研究

特別講演

1) Jacques Constans (Centre d' Hemotypologie du CNRS, Toulouse, France): The Polymorphism and the Evolution of Vitamin D-Binding Protein

2) Erna van Loghem (Red Cross Blood Transfusion Services, Amsterdam, The Netherlands): Genetic Markers of Human Immunoglobulins and Evolution

シンポジウム

バイオテクノロジー — 分子から個体へ —

司会 武部 啓 (京大・放射能基礎医学)

第 1 日 (11 月 9 日)

松本大会会長の開会の辞に引き続き、午前中に A, B 2 会場で一般講演 32 題の発表があった。午後は 2 題の特別講演の後、再び A, B 会場で一般講演 36 題の発表があった。なお、2 日間にわたる 28 題のポスター展示が開始された。

第 2 日 (11 月 10 日)

午前中 2 会場で 34 題の一般講演があり、引き続き記念撮影が行われた。午後は総会議事に引き続いて学会賞授賞式、同受賞講演が行われた。その後、会長講演があり、引き続き C, D 2 会場でポスターセッションが行われた。講演終了後、懇親会が開かれた。

第 3 日 (11 月 11 日)

午前中シンポジウムが行われ、午後は 2 会場で一般講演 30 題の発表があった。その後、古山大会副会長の閉会の辞をもって、全日程を終了した。

理事会

日 時 : 昭和 58 年 11 月 8 日 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 : 宝塚ホテル

出席者 : 井上会長, 岡島, 外村, 荻田各理事, 松本大会長, 古山大会副会長, 池内, 黒木各幹事

1. 編集関係では、投稿論文が増加しているが、大会号の編集方針を編集委員長に一任することで当

分様子をみることになった。

2. 59 年度大会準備状況が荻田次期大会長より報告され、ポスターセッションを重視する方針が示された。
3. 60 年度大会開催地、大会長の案が示され了承された。
4. 名誉会員候補として 2 名が推薦され了承された。
5. 新理事の業務分担のうち未決定の IGF 担当は荻田理事に決定された。
6. 新委員長、新幹事が委嘱された。(評議員会の項に記載)
7. 井上会長再任の際の学会賞選考委員として木村資生氏が推薦され了承された。
8. 新旧役員交代時期について検討され、従来の方針が再確認された。
9. その他、IGF 関係、名誉会長の件などが討議された。

評議員会

日時：昭和 58 年 11 月 8 日 17:00~19:00

場所：宝塚ホテル

議事に先立ち、物故会員の御冥福を祈った。

I. 報告事項

1. 庶務報告

- 1) 会員の異動状況、理事会開催(9月10日, 11月8日)について報告がなされた。
- 2) 本年6月の評議員改選に伴って任期満了した理事、学会賞選考委員の改選が行われ、岡島道夫、外村 晶、荻田善一の3氏が新理事に、井上英二、外村 晶の2氏が新学会賞選考委員に選出された。
- 3) 理事業務分担が報告された。(9月10日, 11月8日の理事会の項参照)
- 4) 新編集委員長に浜口秀夫氏、新人類遺伝学用語委員長に井上英二氏が委嘱された。

2. 会計報告

- 1) 昭和 57 年度会計報告および同監査報告がなされた。
- 2) 昭和 58 年度会計中間報告があった。

3. 編集報告

論文の投稿、受理状況等について報告された。

4. 昭和 59 年度大会準備状況報告(荻田善一次期大会長)第 29 回日本人類遺伝学会は、昭和 59 年 11 月 14 日~16 日、富山市富山県民会館で開催予定である旨の報告があった。

5. 委員会報告

1) 学会賞選考委員会

本年の学会賞は、東北大小児科多田啓也教授に贈られることになった旨の報告があった(学会記事参照、人遺誌 28 巻 2 号 193 頁)。

2) 人類遺伝学会用語委員会

用語委員会新委員長には井上会長が選出された旨報告された。委員会設立の経緯と用語集編集の進行状況の報告があった。

6. 理事担当事項等報告

1) 文部省科研費関係

従来科研費の申請は「医学一般」として扱われていたが、昭和 59 年度より「人類遺伝学」の細目が認められた旨の報告があった。

2) その他, 学術会議関連, 日本医学会評議員会の報告があった。

7. その他

国際ふたご学会の日本誘致, 日本国際賞, 関連学会協賛, 日本先天代謝異常学会の新設, 人類学会の遺伝分科会等に関する報告があった。

II. 協議事項

1. 次期会長候補として, 井上英二現会長が満場一致で推薦された。それに伴い空席となる学会賞選考委員に次点の木村資生評議員が選出された。
2. 昭和 60 年度大会は名古屋市で, 和田義郎教授 (名古屋市大・小児科) を大会長として開催する案が示された承された。
3. 名誉会員として北原経太氏 (鹿児島大名誉教授), 西村秀雄氏 (京大名誉教授) が満場一致で推薦された。
4. 役員の選定に関する会則の一部改正が検討され, 次のような改正案が示された。
 第十一条「……評議員は各地区ごとに普通会员の互選による。……」を「……各地区ごとに国内在住の普通会员の……」と改める。
5. IGF の Executive Board 候補者を人類遺伝学会から推薦する件が検討され, 独自の候補者は出さない方針が了承された。
6. その他, 井関尚栄名誉会員を名誉会長に推薦する件が了承された。また任期満了に伴い新幹事は次の如く委嘱する旨の報告があった。

庶務: 松井一郎, 会計: 西村泰治, 編集: 池内達郎

なお学術会議の発達障害研究連絡委員会の現況についての報告があった。

総会議事

I. 報告事項

1. 庶務報告

会員の異動状況, 理事会の開催, 理事, 学会賞選考委員の選挙結果, 理事業務分担, 委員長委嘱等についての報告があった。

会員の異動状況 (57年12月31日現在)

	現在数	入会	退会	増減	
普通会员	国内	862	65	32	+33
	国外	26	7	0	+7
名誉会員	国内	19	0	1	-1
	国外	11	1	0	+1
機関会員	95	2	1	+1	
維持会員	4	3	0	+3	
計	1,017	78	34	+44	

2. 会計報告

昭和 57 年度会計報告ならびに同監査報告がなされ, 引き続いて昭和 58 年度会計中間報告があった。

昭和 57 年度会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,664,316円	雑誌刊行費	5,133,931円 {26巻1・2号 27巻1~3号}
会 費	4,545,450	雑誌発送費	410,477
雑誌売上代	562,020	雑誌編集費	45,800
論文掲載料	340,499	事務費	536,957
文部省科研費	1,280,000	理事会旅費	97,900
医師会助成金	100,000	人件費	480,000
広告掲載料	95,000	次年度繰越金	4,932,241
預金利子	50,021		
計	11,637,306円	計	11,637,306円

昭和58年度中間報告

(58年1月1日~10月25日)

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,932,241円	雑誌刊行費	3,189,329円 {27巻4号 28巻1・2号}
会 費	4,988,449	雑誌発送費	224,553
雑誌売上代	697,850	雑誌編集費	20,000
論文掲載料	371,471	事務費	1,261,475
文部省科研費	(1,310,000)	理事会旅費	167,400
医師会助成金	200,000	人件費	300,000
広告掲載料	280,000		
預金利子	48,939		
計	12,828,950円	計	5,162,757円

3. 編集報告

論文の投稿, 受理状況等についての報告があった。

4. 昭和 59 年度大会準備状況について荻田次期大会長からの報告があった。

5. 委員会報告

学会賞選考委員会, 人類遺伝学用語委員会より, それぞれ報告がなされた(評議員会記録参照)。

6. 理事担当事項等報告

文部省科研費関係, 学術会議関連, 日医評議員会, 学術会議発達障害研連等についての報告がなされた。

7. その他, 国際ふたご学会, 日本国際賞, 学会協賛等に関する報告があった。

II. 協議事項

1. 次期会長候補として評議員会より井上英二現会長が推薦され, 満場一致で次期会長に決定した。それに伴い空席となる学会賞選考委員には木村資生評議員が推薦され了承された。

なお, 新幹事の委嘱が報告された。

2. 昭和 60 年度大会開催地, 大会長案が示され, 満場一致で了承された(評議員会記録参照)。

3. 北原経太, 西村秀雄の両氏をそれぞれ 41 人目, 42 人目の名誉会員に, 井関尚榮名誉会員を名誉会長に推薦することが提案され満場一致で了承された。

4. その他, IGF Executive Board の推薦, 会則一部改正, 名誉会長の件等が討議された。

(1981-1983 年度庶務幹事 黒木良和)